

## 事務事業評価調書

事務事業名	公衆便所維持管理事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和45年	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条第5項(清潔の保持)													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	01	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	高浜神社内の公衆便所を利用する市民												
		目標(どういう状態にしたいのか)	公衆便所の維持管理に努め、公衆衛生の向上をはかる。												
		結果(どのような効果が得られるのか)	市民が利用しやすい清潔な公衆便所												
(7)	事業概要	高浜神社内の公衆便所の光熱水費及び建物等修繕等の維持管理事業													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	01	目	07	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		75	38	78	33	90							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						
			総額(B)	千円	84	81	82	80	81						
		総事業費(A+B)		159	119	160	113	171							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		159	119	160	113	171							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	159		119	160	113	171									
財源計(C+D)		159	119	160	113	171									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 維持管理経費	目標値	(単位:千円)	75.00	78.00	90.00	
			実績値	(単位:千円)	38.00	33.00	/	
			達成度(%)		50.7	42.3		
	目標値の積算方法	年間光熱水費及び建物等修繕料	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.13	3.48	/
				一般財源(単位:千円)		3.13	3.48	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合	①	活動内容	公衆便所の維持管理			目標	公衆便所の維持管理に努め、公衆衛生の向上をはかる。	
	②	成果内容	不特定多数の市民が利用する公衆便所の維持管理を目的としているため、成果指標の設定はしてません。			達成状況	修繕や漏水もなく当初予算内で維持管理が行えました。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		公衆便所は不特定多数の市民が利用しますので、公衆衛生の確保のため、適正な維持管理に努める必要があります。					

## 事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	公衆便所維持管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00657				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点	
(2) 有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点	
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	事業課	事務事業番号	00657
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公衆衛生の確保のため、公衆便所維持管理事業は必要な事業と考えており、また、事業費については、清掃業務を同様の業務を行っている土木部公園みどり室に執行を依頼し事業の効率化をはかり、電気料金については定額制「公衆街路灯A」契約を結び経費の削減に努めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	事業課庁舎施設管理事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和50年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	なし						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 05	環境を守り育てるまちづくり	節 03	細節 20			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他	範囲等 事業課庁舎				
		目標 (どういう状態にしたいのか)	施設の効率かつ適切な管理運営					
		結果 (どのような効果が得られるのか)	計画的な管理運営によるコストの削減					
(7)	事業概要	事業課庁舎の維持管理						
(8)	H28事業別 予算コード	会計 01	款 04	項 02	目 02	大事業 01	中事業 01	小事業 01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		19,265	14,346	24,410	20,468	15,761
		人件費	職員数 人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			総額(B) 千円	25,056	24,117	24,510	23,700	24,156
		総事業費(A+B)		44,321	38,463	48,920	44,168	39,917
		特定財源(C)		51	72	66	58	71
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	51	72	66	58	71
		市負担(D)		44,270	38,391	48,854	44,110	39,846
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0	0		
	一般財源	44,270	38,391	48,854	44,110	39,846		
財源計(C+D)		44,321	38,463	48,920	44,168	39,917		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
				②				
				③				
		主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	光熱水費	目標値	(単位:円)	10,413,383.00	8,025,943.00	7,211,103.00
			実績値	(単位:円)	8,025,943.00	7,211,103.00	/	
		達成度(%)		77.1	89.8			
	目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.01		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.01		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	事業課庁舎の施設管理			目標	施設の効率的かつ適切な運営		
	②	成果内容	事業課庁舎の施設管理を目的としているため、成果指標の設定はしていない。			達成状況	施設の老朽化が著しく、漏水等により光熱水費が大幅に増加することもあるため、改善の必要がある。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		他の事業の運営に必要な事業であり、経費削減の努力を行っていますが、さらに削減効果を高める方策を検討する必要があります。また、施設の老朽化比率が85.9%となっていることから、今後の施設のあり方について検討する必要があります。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	事業課庁舎施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00658				

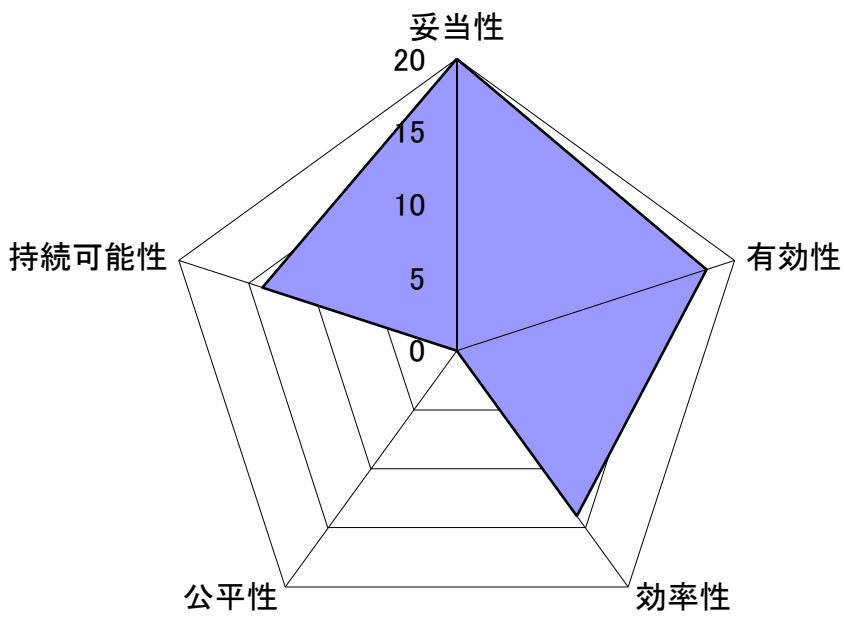
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00658
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>建築後40年が経過し、施設の老朽化が年々進んでいます。中・長期的な視点から、今後の施設のあり方を早急に検討する必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	家庭系ごみ収集運搬直営事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内の一般家庭 直営収集地区 対象数:17,958世帯(H29年3月末)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	一般廃棄物を適正に収集運搬する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	市民に分別収集の意識向上を図る。また、ごみの資源化を促進し、ごみの減量を図る。												
(7)	事業概要	家庭系ごみの分別収集計画に基づき、家庭から12種分別により排出されるごみを適正に収集運搬する。(燃焼ごみ週2回 資源ごみ月2回 大型複雑ごみ月1回 小型複雑ごみ月1回 有害危険ごみ月1回)													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		27,800	26,988	25,994	24,199	30,387							
		人件費	職員数	人	53.60	49.60	49.40	49.40	47.60						
			総額(B)	千円	447,668	398,735	403,598	390,260	383,276						
		総事業費(A+B)		475,468	425,723	429,592	414,459	413,663							
		特定財源(C)		1,410	3,480	3,380	3,323	3,548							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	1,410	3,480	3,380	3,323	3,548							
		市負担(D)		474,058	422,243	426,212	411,136	410,115							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
			一般財源	474,058	422,243	426,212	411,136	410,115							
財源計(C+D)		475,468	425,723	429,592	414,459	413,663									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 家庭系ごみの収集処理件数	目標値	(単位:件)	214,051.00	215,650.00	218,831.00	
			実績値	(単位:件)	215,650.00	218,831.00		
			達成度(%)		100.7	101.5		
	目標値の積算方法	戸数×12か月(昨年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.97	1.95	
				一般財源(単位:千円)		1.96	1.94	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 家庭系ごみの収集処理量	目標値	(単位:トン)	7,132.63	6,932.70	7,549.30	
			実績値	(単位:トン)	7,877.50	7,890.30		
			達成度(%)		110.4	113.8		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		54.04	54.22	
				一般財源(単位:千円)		53.60	53.80	
	②	指標内容 市民1人1日当たりのごみ排出量		目標値	(単位:グラム)	864.00	846.00	834.00
				実績値	(単位:グラム)	853.00	842.00	
		達成度(%)		98.7	99.5			
目標値の積算方法		一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		499.09	508.07	
	一般財源(単位:千円)				495.01	504.13		
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)			達成状況	平成27年度 10.1%削減 平成28年度 11.3%削減	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		家庭系ごみ収集運搬事業は、継続的かつ安定的に実施する必要がある事業です。家庭系ごみ収集運搬の約9割を民間委託で行っており、委託事業者に対する指導や収集現場の実態把握、災害時及び非常時に対応できるよう直営収集体制を維持する必要があります。また、安心サポート収集や在宅医療廃棄物収集など、高齢者や障がい者のニーズに対応した収集も実施しており、市民からも高い評価を得ています。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	家庭系ごみ収集運搬直営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00659				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>94</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00659
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

更なる市民サービス向上のため、平成28年度から在宅医療廃棄物の収集を実施しています。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>家庭系ごみ収集運搬事業の直営収集は約1割ですが、委託業者への指導や災害等の非常事態が生じた場合のフォローなどには、実際に本市での収集業務の経験を積み、現場を熟知していることが重要です。高齢者世帯等への支援収集(安心サポート収集)等も実施しています。また、本事業の遂行に不可欠な保有車両の老朽化が進んでいるため、今後、継続的・安定的に事業を実施するためには、計画的なリース車両への切り替えが必要です。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	家庭系ごみ収集運搬委託事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内の一般家庭 委託収集地区 対象数:150,212世帯(H29年3月末)												
		目標(どういう状態にしたいのか)	一般廃棄物を適正に収集運搬する。												
(7)	事業概要	結果(どのような効果が得られるのか)	市民に分別収集の意識向上を図る。また、ごみの資源化を促進しごみの減量を図る。												
		家庭系ごみの分別収集計画に基づき、家庭から12種分別により排出されるごみを適正に収集運搬する。(燃焼ごみ週2回 資源ごみ月2回 大型複雑ごみ月1回 小型複雑ごみ月1回 有害危険ごみ月1回)													
(8)	H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	02
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,755,955	1,753,787	1,783,370	1,780,223	1,813,175							
		人件費	職員数	人	10.00	10.00	9.00	9.00	9.00						
			総額(B)	千円	83,520	80,390	73,530	71,100	72,468						
		総事業費(A+B)		1,839,475	1,834,177	1,856,900	1,851,323	1,885,643							
		特定財源(C)		5,369	2,463	2,280	2,127	2,271							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	5,369	2,463	2,280	2,127	2,271							
		市負担(D)		1,834,106	1,831,714	1,854,620	1,849,196	1,883,372							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	1,834,106		1,831,714	1,854,620	1,849,196	1,883,372									
財源計(C+D)		1,839,475	1,834,177	1,856,900	1,851,323	1,885,643									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般廃棄物収集運搬業者										
				②											
				③											
		主な委託内容		一般廃棄物の収集運搬											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	家庭系ごみの収集処理件数	目標値	(単位:件)	1,741,228.00	1,769,206.00	1,797,906.00
			実績値	(単位:件)	1,769,206.00	1,797,906.00		
		達成度(%)			101.6	101.6		
	目標値の積算方法	戸数×12か月(前年度実績値)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.04	1.03	
				一般財源(単位:千円)		1.04	1.03	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	家庭系ごみの収集処理量	目標値	(単位:トン)	58,021.37	56,876.30	62,024.70
			実績値	(単位:トン)	61,500.73	60,959.44		
		達成度(%)			106.0	107.2		
	目標値の積算方法	一般廃棄物処理基本計画に基づき算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		29.82	30.41	
				一般財源(単位:千円)		29.78	30.37	
	②	指標内容	市民1人1日当たりのごみ排出量	目標値	(単位:グラム)	864.00	846.00	834.00
			実績値	(単位:グラム)	853.00	842.00		
		達成度(%)			98.7	99.5		
目標値の積算方法		一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2,150.27	2,201.61	
				一般財源(単位:千円)		2,147.38	2,199.08	
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)			達成状況	平成27年度 10.1%削減 平成28年度 11.3%削減	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		家庭系ごみ収集運搬事業については、一日の遅滞も許されない事業ですが、事業の約9割を民間業者に委託しているため、廃棄物処理法に規定する委託基準は、業務に関する相当の経験を有する適切な者に対して委託すること等の受託者としての要件に加え、経済性の確保等の要請ではなく、業務の確実な履行を求める基準であることに留意し、継続的・安定的に事業を遂行するよう指導強化を図っていく必要があります。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	家庭系ごみ収集運搬委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00660				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		



所属名	環境部事業課	事務事業番号	00660
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

人口増加に伴い、収集世帯数が年々増加しているため委託料は増加傾向にありますが、一日の遅滞も許されない事業です。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five categories: 妥当性 (top), 有効性 (right), 効率性 (bottom right), 公平性 (bottom left), and 持続可能性 (left). The scale ranges from 0 to 20. The values are: 妥当性: 20, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 5, 持続可能性: 5.</p>		
(3)現状分析	<p>民間委託の拡大とともに委託料の削減によって総事業費の削減を図ってきましたが、廃棄物処理法に規定する委託基準の、経済性の確保等の要請ではなく、業務の確実な履行を求めた基準に留意し、継続的・安定的に事業を遂行するよう指導強化を図っていく必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

最高裁で「廃棄物処理法において、一般廃棄物処理業は専ら自由競争に委ねられる性格の事業とは位置づけられていない。」との判決が出されたことにより、平成26年10月8日付で環境省より廃棄物処理法の適正な運用の徹底についての通知が出されました。このことを受け、一般廃棄物の適正な処理の継続的かつ安定的な実施の確保に努めていくことが重要と考えます。



## 事務事業評価調書

事務事業名	公共施設収集運搬委託事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成10年度	改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市公共施設(小・中学校、その他公共施設) 対象:66か所											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市公共施設から排出される産業廃棄物のうち、臨時ごみ(蛍光灯・乾電池)の収集運搬及び処理処分を行う。 分別収集の意識向上を図り、ごみの資源化を促進し、減量を図る。												
(7) 事業概要	市公共施設より排出される産業廃棄物(蛍光灯・乾電池)の収集運搬及び処理処分を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,191	1,029	1,191	946	1,191							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		2,862	2,637	2,825	2,526	2,802							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		2,862	2,637	2,825	2,526	2,802							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		2,862	2,637	2,825	2,526	2,802								
財源計(C+D)		2,862	2,637	2,825	2,526	2,802								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	産業廃棄物収集運搬業者										
			②	産業廃棄物処理業者										
			③											
	主な委託内容		市公共施設の産業廃棄物の収集運搬等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 乾電池・蛍光灯収集箇所	目標値	(単位:件)	65.00	66.00	/
			実績値	(単位:件)	66.00	66.00	
			達成度(%)		101.5	100.0	
	目標値の積算方法 昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	39.95	39.09		
			一般財源(単位:千円)	39.95	39.09		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 乾電池・蛍光灯収集処理数	目標値	(単位:kg)	2,863.50	2,761.00	/
			実績値	(単位:kg)	2,761.00	2,541.00	
			達成度(%)		96.4	92.0	
	目標値の積算方法 昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.96	1.02		
			一般財源(単位:千円)	0.96	1.02		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市公共施設における使用済みの蛍光灯・乾電池について、水銀をはじめとする構成材料のほぼ全てをリサイクル処理するために実施している事業であり、継続すべき事業です。				

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	公共施設収集運搬委託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00661				

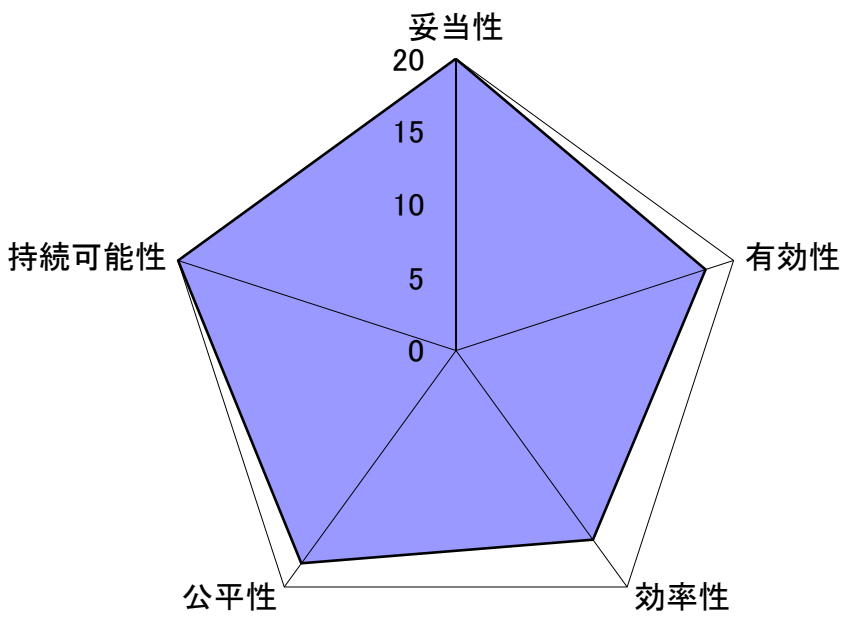
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00661
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市公共施設から排出される使用済みの乾電池・蛍光灯について、適正なりサイクル処理を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	医療に伴う排出物等・動物の死体											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	医療に伴う排出物等・動物の死体の収集運搬を行う。												
(7) 事業概要	医療に伴う排出物等・動物の死体の収集運搬を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		12,598	12,594	12,614	12,595	12,614							
	人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	1,671	1,608	1,634	1,580	1,611						
	総事業費(A+B)		14,269	14,202	14,248	14,175	14,225							
	特定財源(C)		2,130	1,700	1,747	1,644	1,698							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		345	338	337	322	336						
		その他		1,785	1,362	1,410	1,322	1,362						
	市負担(D)		12,139	12,502	12,501	12,531	12,527							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		12,139	12,502	12,501	12,531	12,527								
財源計(C+D)		14,269	14,202	14,248	14,175	14,225								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般廃棄物収集運搬業者										
			②											
			③											
	主な委託内容		医療に伴う排出物等・動物の死体の収集運搬											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	動物の死体処理件数	目標値	(単位:件)	2,078.00	1,906.00	1,881.00
			実績値	(単位:件)	1,906.00	1,881.00	
			達成度(%)		91.7	98.7	
	目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	7.45	7.56	
				一般財源(単位:千円)	6.56	6.69	
	(2) 成果指標	②	医療に伴う排出物等処理件数	目標値	(単位:件)	205.00	221.00
実績値				(単位:件)	221.00	204.00	
達成度(%)				107.8	92.3		
目標値の積算方法		昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	64.26	69.75	
				一般財源(単位:千円)	56.57	61.69	
(3) が困難な場合		①	所有者不明の動物死体処理件数	目標値	(単位:件)	1,386.00	1,262.00
	実績値			(単位:件)	1,262.00	1,177.00	
	達成度(%)			91.1	93.3		
	目標値の積算方法	昨年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.25	12.09	
				一般財源(単位:千円)	9.91	10.69	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	死獣処理については、ペットだけではなく、路上等での回収も多数あり、生活環境保全のためには欠かせない事業です。					

# 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬事業	事業区分	その他
事務事業番号	00662				

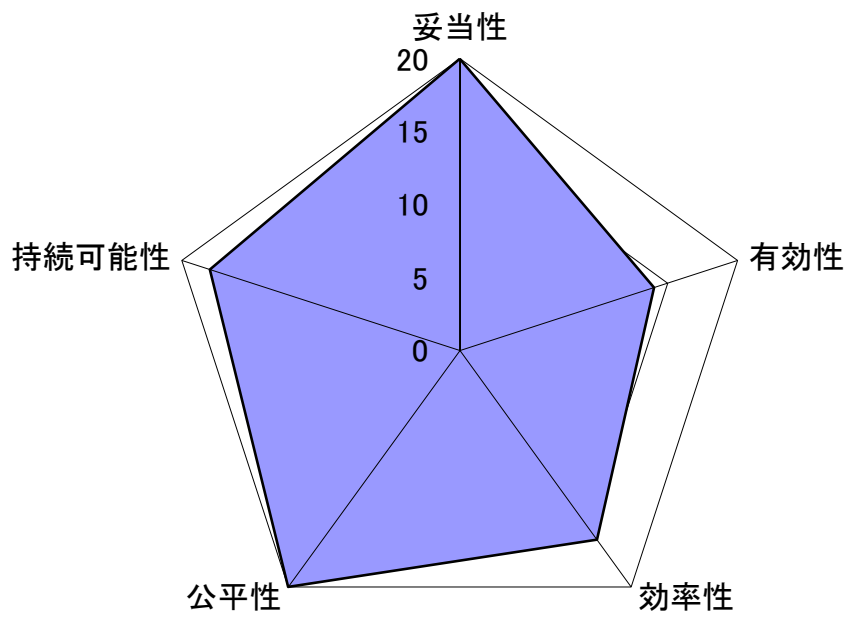
## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	<b>88</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00662
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>医療に伴う排出物等・動物の死体収集運搬を民間業者に委託し、継続的・安定的な事業運営が行われています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	ごみ分別排出啓発事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和47年度	改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正														
(2) 直近の改正	平成24年度																
(3) 根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例																
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)														
	一部にチェックした場合はその説明																
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20										
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
		範囲等	全市民を対象としている(自治会等を通じて啓発している)														
	目標(どうい状態にしたいのか)	ごみの分別排出の啓発を行う。															
	結果(どのような効果が得られるのか)	分別意識向上とごみの減量を図る。															
(7) 事業概要	ごみの12種分別のPR用ビラや看板の作成、分別排出用コンテナの配布を行い、市民の循環型社会構築への理解を高め、ごみの分別及びごみの減量を図る。																
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	大	事業	03	中	事業	01	小	事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)										
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)										
	事業費(A)		4,933	4,632	4,933	6,161	4,933										
	人件費	職員数	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00										
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900										
	総事業費(A+B)		13,285	12,671	13,103	14,061	12,985										
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0										
		国		0	0	0	0										
		府		0	0	0	0										
		その他		0	0	0	0										
	(内訳)	市負担(D)		13,285	12,671	13,103	14,061										
		地方債		0	0	0	0										
		その他		0	0	0	0										
		一般財源		13,285	12,671	13,103	14,061										
財源計(C+D)		13,285	12,671	13,103	14,061	12,985											
(10) 実施方法(該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①														
			②														
			③														
	主な委託内容																
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①														
②																	
③																	
<input type="checkbox"/> その他	内容																

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 分別排出用のコンテナ配布個数	目標値	(単位:個)	1,250.00	1,250.00	1,350.00
			実績値	(単位:個)	1,475.00	1,600.00	
			達成度(%)		118.0	128.0	
	目標値の積算方法 予算数値による	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.59	8.96	
			一般財源(単位:千円)		8.59	8.96	
			達成度(%)		0.0	0.0	
(2) 成果指標	①	指標内容 ごみの排出量	目標値	(単位:トン)	112,528.00	109,556.00	113,409.00
			実績値	(単位:トン)	114,081.56	113,508.10	
			達成度(%)		101.4	103.6	
	目標値の積算方法 一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.11	0.13	
			一般財源(単位:千円)		0.11	0.13	
			達成度(%)		98.7	99.5	
(3) が困難な場合を示す	②	指標内容 市民1人1日当たりのごみ排出量	目標値	(単位:グラム)	864.00	846.00	834.00
			実績値	(単位:グラム)	853.00	842.00	
			達成度(%)		98.7	99.5	
	目標値の積算方法 一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		14.85	17.02	
			一般財源(単位:千円)		14.85	17.02	
			達成度(%)		98.7	99.5	
の(3)が困難な場合を示す	①	活動内容			目標		
	②	成果内容	市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)		達成状況	平成27年度 10.1%削減 平成28年度 11.3%削減	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		12種分別のPR用ビラや分別排出用のコンテナの配布等は、ごみの分別の意識を高め、ごみの減量に繋がる重要な事業であり、吹田市一般廃棄物処理基本計画改訂版(平成29年3月策定)に基づき、資源物持ち去り防止に向けた条例化の検討など、リサイクルや適正処理等の推進に適した分別収集体制の確立を進めます。				

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	ごみ分別排出啓発事業	事業区分	その他
事務事業番号	00663				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境部事業課	事務事業番号	00663
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>12種分別のPR用ビラや看板、分別排出用コンテナの配布等により、市民のごみ分別への意識を高めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	事業課業務グループ庁舎施設管理事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和51年	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	事業課業務グループ庁舎											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	効率的な維持管理による施設管理 適正な施設管理												
(7) 事業概要	事業課業務グループ庁舎の施設管理													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,462	3,513	4,468	4,072	3,895							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		12,814	11,552	12,638	11,972	11,947							
	特定財源(C)		0	0	0	0	118							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	118						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		12,814	11,552	12,638	11,972	11,829							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		12,814	11,552	12,638	11,972	11,829								
財源計(C+D)		12,814	11,552	12,638	11,972	11,947								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	年間光熱水費及び燃料費	目標値	(単位:千円)	1,136.00	1,138.00	1,202.00	
			実績値	(単位:千円)	898.00	958.00		
			達成度(%)		79.0	84.2		
	目標値の積算方法	年間光熱水費及び燃料費の実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		12.86	12.78	
				一般財源(単位:千円)		12.86	12.78	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
		達成度(%)		0.0	0.0			
の3が困難な場合	①	活動内容	事業課業務グループ庁舎の施設管理			目標	効率的な維持管理による施設管理	
		②	成果内容	事業内容が施設管理を目的としているため、成果指標の設定していません。			達成状況	節電節水等に努め当初予算内で維持管理が行えました。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		事業課業務グループが所管する事業の運営に必要な施設であり、光熱水費など経費削減の努力を行っていますが、さらに削減効果を高める方策を検討する必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	事業課業務グループ庁舎施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00664				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	事業課	事務事業番号	00664
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析	<p>事業課業務グループ庁舎は、建築後41年が経過し、老朽化が進んでいますが、し尿・浄化槽汚泥等の搬入車両の計量及び受入れを行っていることから、建替えや移転には課題も多く、適正な庁舎管理を行い施設を維持していく必要があります。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	し尿収集運搬処理事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和29年度	改正 内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律・浄化槽法・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内のくみ取り式トイレ・浄化槽等の設置者(一般家庭、事業所、工事現場等くみ取り式仮設トイレ)												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	し尿・浄化槽汚泥等を衛生的に処理し生活環境を清潔にして、公衆衛生の向上をはかる。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	くみ取り式トイレ、浄化槽から公共下水道に切替えるまでの間、適正に収集を行ない公衆衛生の向上をはかる。												
		し尿の処理については、一般廃棄物処理計画に基づいた2週間に1回の定曜日収集によるし尿収集運搬を実施しています。また、浄化槽については、許可申請受付・浄化槽清掃届受付・指導監督及び浄化槽汚泥等の受入れ処理を行っています。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	03	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		34,519	33,338	35,140	32,548	34,892							
		人件費	職員数	人	3.98	2.98	3.98	3.98	4.98						
			総額(B)	千円	33,241	23,957	32,517	31,442	40,099						
		総事業費(A+B)		67,760	57,295	67,657	63,990	74,991							
		特定財源(C)		3,588	4,916	3,053	0	4,090							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	160	0	0	0							
			その他	3,588	4,756	3,053	0	4,090							
		市負担(D)		64,172	52,379	64,604	63,990	70,901							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	64,172		52,379	64,604	63,990	70,901									
財源計(C+D)		67,760	57,295	67,657	63,990	74,991									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	有限会社フカモリ吹田営業所										
				②											
				③											
		主な委託内容		市内全域のし尿収集運搬業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input checked="" type="checkbox"/> その他		内容		市内全域の浄化槽汚泥等の収集運搬業務については、浄化槽設置と浄化槽清掃業許可業者(19社)の契約。											

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 し尿の年間延べ収集件数	目標値	(単位:件)	10,530.00	10,764.00	10,114.00	
			実績値	(単位:件)	9,625.00	9,211.00		
			達成度(%)		91.4	85.6		
	目標値の積算方法	年度当初し尿収集対象戸数×(52週÷2) * 2週間に1回の収集のため	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.95	7.06	
				一般財源(単位:千円)		5.44	7.06	
	②	指標内容 浄化槽の年間延べ清掃件数	目標値	(単位:件)	458.00	448.00	436.00	
実績値			(単位:件)	428.00	411.00			
達成度(%)			93.4	91.7				
目標値の積算方法		年度当初浄化槽設置基数 * 年1回の清掃のため	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		133.87	158.31	
				一般財源(単位:千円)		122.38	158.31	
(2) 成果指標		①	指標内容 し尿の年間延べ収集量	目標値	(単位:k_)	945.67	860.25	714.39
	実績値			(単位:k_)	769.22	651.61		
	達成度(%)			81.3	75.7			
	目標値の積算方法	前年度平均し尿収集量×計画延べし尿収集件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		74.48	99.85	
				一般財源(単位:千円)		68.09	99.85	
	②	指標内容 浄化槽の年間延べ収集量	目標値	(単位:k_)	1,322.09	1,266.09	1,218.25	
実績値			(単位:k_)	1,209.57	1,148.40			
達成度(%)			91.5	90.7				
目標値の積算方法		前年度平均浄化槽汚泥収集量×年度当初浄化槽設置基数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		47.37	56.66	
一般財源(単位:千円)		43.30	56.66					
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		し尿収集運搬業務は、全面委託を実施し事業費の節減に努めています。また、公共下水道の普及により、くみ取り式トイレ・浄化槽からの水洗切替が促進され、延べ収集件数や延べ収集量の実績値は減少傾向ですが、近年申込みが増えている工事現場等のくみ取り式仮設トイレの収集や、市内全世帯が水洗化にされるまでは、今後も需要が見込まれる事業です。					

## 事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	し尿収集運搬処理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00665				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	事業課	事務事業番号	00665
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>し尿収集については、し尿収集運搬業務の全面委託等、事業の効率化、経費の削減をはかっています。浄化槽については、許可業者からの清掃受付や浄化槽台帳管理業務等にあわせて、平成23年度からは、大阪府から事務移譲された「浄化槽の設置に関する届出受理等」の事務を行っています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	事業所減量・資源化指導事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成2年度	改正内容	廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正(平成23年度)に伴う条例の一部改正											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	05	環境を守り育てるまちづくり	節	03	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市内各事業所 対象者:9,300件												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市内各事業所に対し、ごみの減量・排出の抑制等指導を行い、事業系ごみの減量・資源化を促進する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	事業系ごみの減量・資源化の促進												
(7) 事業概要	吹田市内各事業所に対し、ごみの減量・排出の抑制等を指導している。また、排出処理等の実態調査を行い、自主的なごみの減量と資源化の取り組みを要請している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	04	項	02	目	02	大事業	03	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,544	2,533	2,489	2,488	2,498							
	人件費	職員数	人	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00						
		総額(B)	千円	66,816	64,312	65,360	63,200	64,416						
	総事業費(A+B)		69,360	66,845	67,849	65,688	66,914							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		69,360	66,845	67,849	65,688	66,914							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		69,360	66,845	67,849	65,688	66,914						
財源計(C+D)		69,360	66,845	67,849	65,688	66,914								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	事業所指導件数	指標内容	目標値	(単位:件)	1,105.00	764.00	733.00
			実績値	(単位:件)	764.00	733.00		
			達成度(%)		69.1	95.9		
	目標値の積算方法	昨年度実績値	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		87.49	92.56	
				一般財源(単位:千円)		87.49	92.56	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	事業系ごみ処理量	指標内容	目標値	(単位:トン)	34,764.00	32,722.00	34,149.00
			実績値	(単位:トン)	35,177.08	35,584.65		
			達成度(%)		101.2	108.7		
			目標値の積算方法	一般廃棄物処理実施計画に基づき算定	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.90
	一般財源(単位:千円)					1.90	1.91	
	②	指標内容	市民1人1日当たりのごみ排出量	目標値	(単位:グラム)	864.00	846.00	834.00
				実績値	(単位:グラム)	853.00	842.00	
				達成度(%)		98.7	99.5	
目標値の積算方法		一般廃棄物処理基本計画に基づき算出	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		78.36	80.58	
	一般財源(単位:千円)				78.36	80.58		
(3) が 困 難 な 場 合 示 合 す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	市民1人1日当たりのごみ排出量を平成22年度比17%削減(一般廃棄物処理基本計画に基づく)			達成状況	平成27年度 10.1%削減 平成28年度 11.3%削減	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		一般廃棄物処理基本計画で定めた事業系ごみの減量目標に向け、雑がみ等の資源化や分別排出の徹底が課題となっているため、ごみ減量マニュアルを活用した減量指導等を徹底します。					

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	事業所減量・資源化指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	01088				

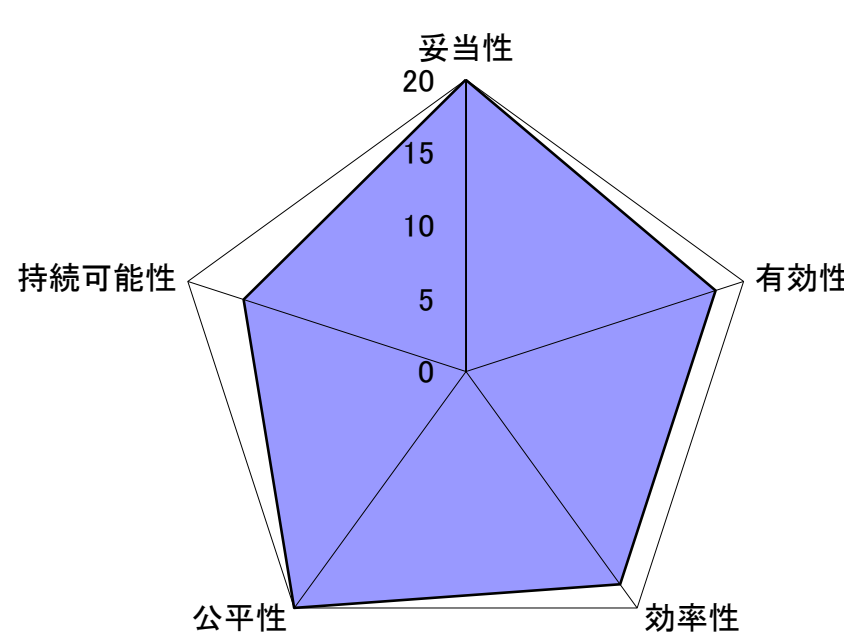
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	環境部事業課	事務事業番号	01088
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内にある事業所に対し、紙ごみの分別による資源化の徹底や、適正なごみの減量の指導に出向くとともに、資源循環エネルギーセンターと協力してピット前検査等を実施し、指導に当たっています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	災害用簡易トイレ管理事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成20年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	災害対策基本法第42条第2項及び第49条													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	06	安全で魅力的なまちづくり	節	01	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	全市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限に合わせて順次更新する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	適正に薬剤等消耗品の更新をはかることにより災害時に対応できる。													
(7)	事業概要	災害時における生活必需品として備蓄している屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の更新を行います。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	09	項	01	目	04	大事業	01	中事業	01	小事業	08
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		324	299	324	280	216							
		人件費	職員数	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01					
			総額(B)	千円	84	81	82	80	81						
		総事業費(A+B)		408	380	406	360	297							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		408	380	406	360	297							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			408	380	406	360	297								
財源計(C+D)		408	380	406	360	297									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 災害用簡易トイレの薬剤等消耗品の更新	目標値	(単位:枚)	4,000.00	4,000.00	2,000.00	
			実績値	(単位:枚)	4,000.00	4,000.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年度毎の更新枚数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.09	
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.09	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容	屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の更新			目標	平成27年度から平成29年度にかけて10,000枚を順次更新		
	成果内容	屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限に合わせて更新することを目的としているため、活動指標と成果指標が同じとなることから、成果指標は設定していません。			達成状況	平成28年度の更新予定の4,000枚を更新		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	災害対策基本法第42条第2項及び第49条の規定に基づく、防災に必要な物資及び資材の整備等の義務の一環として備蓄している、屋内型災害用簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限にあわせて順次更新します。						

## 事務事業分析シート

所属名	事業課	事業名	災害用簡易トイレ管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01449				

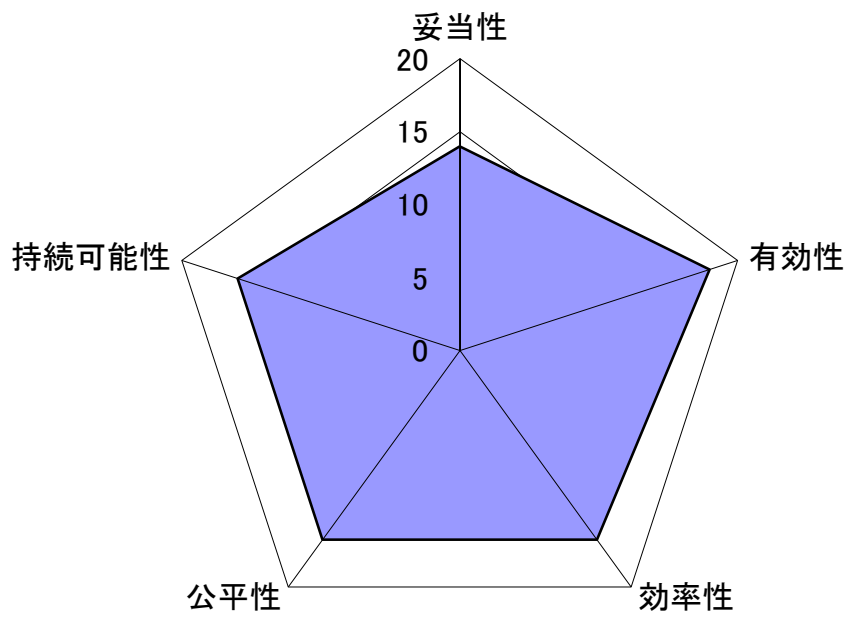
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	<b>80</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	事業課	事務事業番号	01449
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市では、屋外型・屋内型合わせて計734基の災害用簡易トイレを備蓄し、合わせて屋内型簡易トイレに使用する薬剤等消耗品を10,000枚備蓄しています。屋内型簡易トイレで使用する薬剤等消耗品の使用期限に合わせて、平成27年度に4,000枚、平成28年度に4,000枚の更新を行いました。平成29年度は2,000枚の更新を予定しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業				
担当部名	環境部	室課名	事業課	室課長名	脇田 登

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成28年度	改正 内容						
(2)	直近の改正								
(3)	根拠法令等	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	06	細節	26	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
		範囲等	環境部事業課職員						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、業務上必要な物資を備蓄する						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	環境部における具体的な行動を進める。							
(7)	事業概要	平成27年11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、具体的な行動を進めるための、業務上必要な物資を備蓄する。							
(8)	H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	1,073	702	0	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00
			総額(B)	千円	0	0	818	790	0
		総事業費(A+B)		0	0	1,891	1,492	0	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		0	0	1,891	1,492	0	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			0	0	1,891	1,492	0		
財源計(C+D)		0	0	1,891	1,492	0			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	新型インフルエンザ等対策として、業務上必要な物資を計画に確保しています。			目標	吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めます。
	②	成果内容	新型インフルエンザ等対策に業務上必要な物資を年次ごとに計画に備蓄します。			達成状況	新型インフルエンザ等が発生した場合、職員が業務に従事できるよう、業務上必要な物資を2週間分備蓄しています。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成27年度11月に策定された吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、環境部における具体的な行動を進めるため、年次的に業務上必要な物資を2週間分備蓄する必要があります。				

## 事務事業分析シート

所属名	環境部事業課	事業名	新型インフルエンザ等対策物資備蓄事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01670				

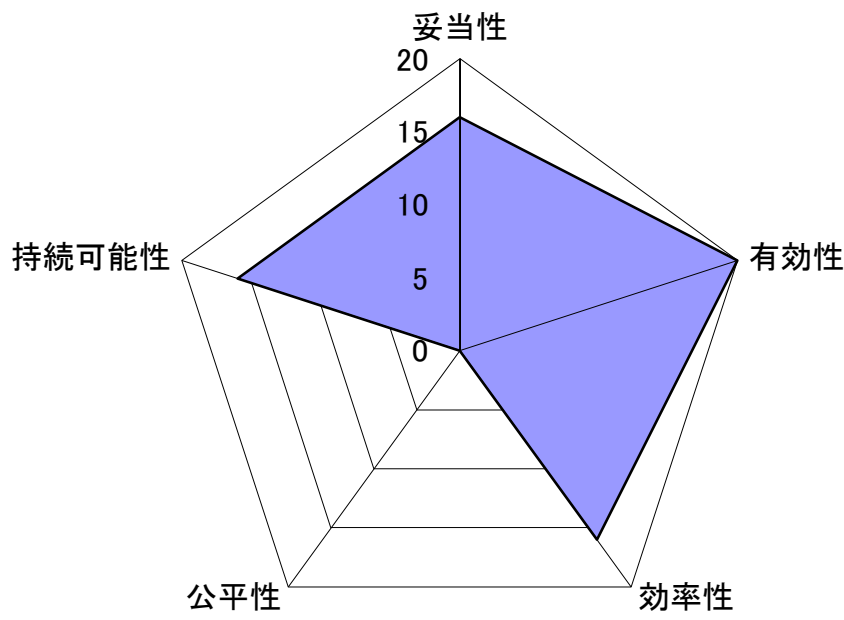
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	環境部事業課	事務事業番号	01670
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、年次の計画的に必要な物資を購入し、備蓄を進めています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)